

編集 日本うたごえ実行委員会
発行 うたごえ新聞社
東京都新宿区西大久保3-0-67
電話 (20) 0101-5
振替番号 東京6631
1部25円
(一部読者は平共6か月510円)

うたごえ新聞

主 要 記 事

一面 69年日本のうたごえ祭典に寄せて／吉村金之助。一九六九年合唱発表会東京予選について／東京予選審査委員会。

二面 荒木栄の作品と生涯からの「センター交響楽」荒木栄。うたごえソング「俺は新米油虫」若者は太陽だ「一石のおとぎ」

三面 仲間のために働くことの喜び、ともしび会の魅力(新潟)ドレミファグラフ。

四、五面 俺たちの職場から／東京・M金属コーラス部。69私鉄バス全国交流会、大うたごえ、職場の交流を計画。大阪のうたごえ祭典、雨の中四千名。

六面 うたごえづくりは楽しいよ(信大病院、大阪・電通)。

歌劇「沖縄」の成功で の年祭典の響きも長びく!



六九年日本のうたごえ祭典の第一目をなす歌劇「沖縄」の初演まで残りあと十日となりました。

歌劇「沖縄」は、日本のうたごえ運動二十周年を記念する事業として企画され、三年の日数、うたごえ内外の創作活動家の集団による総力をあげてつくられ、演奏分野の活動家の全力量をあげてつくられたものです。

さらに、沖縄と本土における制作上演実行委員会の全国的な智恵と力、各界の期待と支持と協力など民主勢力の壮大な共同の事業としてすすめられてきた活動です。

初演の成功は、この大きな運動を勇気づけ、さらに来年度の全国公演成功の第一歩となるものです。

七〇年の安保廃棄・沖縄全面返還をめざして、佐藤訪米反対・国会解散・総選挙という日本国民の巨大な足跡の中で、歌劇「沖縄」初演が、国民の闘いに応え、これをほげます力となることほうたごえ余地がありません。

初演にあたる全スタッフ、全キャストはもちろん、全国から参加する仲間の皆さんの方で、この初演を成功させるため、もう二度、一まわりも「まわりも」広い仲間に参加する活動を組織しましょう。

また、初演の内容を全国に伝え、各地の制作上演実行委員会の人びとと一緒に、来年にせまった全国上演の準備活動の速度を早め、制作資金カンパ二百万円を一日も早く達成するようにしましょう。